一、山谷の閑居様

山谷に閑居さんの墓というのがある。祈れば諸願成就すると伝えられ、その付近一帯を閑居台と呼んでいる。閑居さんは南家相恩の臣で、山谷を開拓した入江家三代目の人である。幼いときより病弱のため家を次弟に譲って仏門に入り、後ち秋田在の桜の万応寺住職となり、弟子から秋田天徳寺の住職を出した程の碩徳の大和尚であった。老いてから寺を弟子に譲って故山に帰り、山谷に草庵を結んで隠栖し、閑居様と呼ばれて里人に慕しまれて寛永十年[註1]ここに入寂した。そこに閑居様の墓がある（ゆざわ）。